

こども学科

子どもの保健

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	熊坂隆行			実務経験	有	職種	看護師				

授業概要

保育の現場において、子どもの健康と安全を守れるよう、保健を学ぶことの意義や実践を学ぶ。日常生活に必要な援助、さまざまな症状への対応、病気への対処・予防、事故防止と安全、応急処置、衛生管理について実践する。

到達目標

子どもの健康及び安全に関する保健活動の計画及び評価がされること。子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境調整ができる。子どもの疾病とその予防及び適切な対応ができる。救急時の対応や事故防止、安全管理の具体策が立案できること。現代社会における心の健康問題や地域保健活動などについて理解できることを目標にしている。

授業方法

レジュメ、配布資料の内容についての解説はPowerPointを用いて進め、実技についてはDVDを用いて、より詳しく解説する。また、演習はグループで行ない、学生が主体的に「問い合わせ」を発し、その「答え」を個人およびグループで発見、検討していく形式で進める。参考資料を紹介し、多面的に対象を理解する機会を提供する。

成績評価方法

実技、発表、授業態度から総合的に評価する。

履修上の注意

自ら学ぶ姿勢をもち、主体的に参加することを前提とする。学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するが、子どもの健康と安全を守る重要な科目であることから、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。

教科書教材

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は授業中に指示する。

回数	授業計画
第1回	子どもの保健を学ぶ意義と目的
第2回	保健活動の計画
第3回	保健活動の評価の実際

第 4 回	観察技術の講義と演習：観察項目についての理解
第 5 回	観察技術の実践
第 6 回	日常に必要な看護技術：日常生活において必要な援助の理解
第 7 回	日常に必要な看護技術：日常生活において必要な援助の実践
第 8 回	症状に対する看護：さまざまな症状への対応の理解
第 9 回	症状に対する看護：さまざまな症状への対応の実践
第 10 回	病気への対処と予防：感染症・食中毒・手洗いチェック
第 11 回	事故防止と安全教育：発達段階と事故
第 12 回	事故防止と安全教育：発達段階と事故予防
第 13 回	保育における応急処置の理解
第 14 回	保育における応急処置の実践
第 15 回	子どもの保育環境と衛生管理